

『ガメラ 大怪獣空中決戦』『デスノート』の金子修介監督が講師を務めます 公開講座「高校生のための映画リテラシー講座／映画『百年の時計』作品上映」

2015年3月1日（日） 13:00～16:30

東京工芸大学(学長:若尾真一郎、所在地:東京都中野区)芸術学部映像学科では、2015年3月1日(日)に公開講座「高校生のための映画リテラシー講座／映画『百年の時計』作品上映」を開催します。

現代社会においては、人々の間でのコミュニケーションは不可欠なものとなっています。コミュニケーションの手段としてはことばが用いられますが、ことばのうち文章を介して読み書きを行う能力は「リテラシー」と位置づけられ、重要視されてきています。

一方、デジタル・テクノロジーの発達によって、携帯電話などで撮影した映像を介したコミュニケーションも容易になってきました。しかし、文章を介してのコミュニケーションに一定の「リテラシー」が必要であるように、撮影した映像などを他人に理解してもらいコミュニケーションを図るためには、撮影や編集といった工夫や技量が必要です。このような映像を適切な形で読み解き、まとめられる能力のことを、私たちは「映画リテラシー」と位置づけています。

文章表現が読書や作文によって培われるように、映像からメッセージを読み取ったり、映像で他人にメッセージを伝えるためには、まず映画(映像)の見方を身につける必要があります。

東京工芸大学芸術学部映像学科では、映像文化に興味のある高校生を対象として、2012年から「高校生のための映画リテラシー講座」を開催してきました。これは、現役の映画監督が自作の上映にあわせて、「映画の見方」や「映画の作り方」について講義を行い、映像文化や情報リテラシーに対する理解をいっそう深めていただくことを目的としています。第1回目の2012年は山川直人(本学教授)、第2回目の2013年は崔洋一監督による講座をそれぞれ開催したのに引き続き、今回は金子修介監督をお招きし、自作の「百年の時計」を上映とともに、金子監督の映像表現のあり方などについてお話ししていただきます。

講座名称には「高校生のための」と銘打っていますが、映画リテラシーに興味のある一般の方々のご参加もお待ちしております。

講座の概要

日時：2015年3月1日(日)13時開始(12時30分開場) 参加無料・予約不要

場所：東京工芸大学 中野キャンパス 芸術情報館メインホール

講師：金子修介(映画監督)

講師プロフィール

1955年生まれ。高校時代から映画製作を始め、東京学芸大学卒業後日活に入社。助監督、監督を経て独立。主な監督作品に、『ガメラ 大怪獣空中決戦』(1995年、第17回ヨコハマ映画祭監督賞受賞)、『ガメラ 2 レギオン襲来』(1996年、第17回日本SF大賞受賞)、『デスノート』(2006年)、『百年の時計』(2012年)、『みんなあげちゃう』(1985年)など。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 学事部広報課

担当：斎藤・松本

電話：046-242-9600 / FAX046-242-9638

e-mail：pr@office.t-kougei.ac.jp